



自主防災組織設立認定 6/6

町は、地域住民が自主的に組織し地域の防災活動を行う『自主防災組織』を設立した三石地区の住民団体に認定証を交付しました。
 今回は、三石地区の自治会など5団体^{えっこう}が、越港連絡協議会自主防災組織（工藤弘一本部長、158世帯）を設立。工藤本部長は「地域での防災活動を進めていきたい」と意気込みを語りました。現在、自主防災組織は、町内全体で33団体が組織しています。



第8回新ひだか町エプロンピック 6/2

新ひだか町女性団体連絡協議会（橋本満子会長）による『第8回新ひだか町エプロンピック』が町静内体育館で開かれ、約150名が参加し、スポーツレクリエーションを楽しみました。
 料理ベラをバトンにした「ヘラヘラリレー」や「長靴飛ばし」などのユニークな種目や定番の玉入れなど全13種目を4チームで競い合いました。参加者は、さわやかな汗を流しながら、友情の輪を広げました。



チェロとピアノの夕べ 5/24

『チェロとピアノの夕べ』が町公民館で開かれ、多くのクラシックファンが訪れました。
 札幌交響楽団の首席奏者などを歴任し、現在はソリストとして活躍するチェロ奏者の土田英順さんと町サポート大使でピアニストの吉鷹奈津子さんの共演で、ショパンやバッハなどのクラシックが披露されました。
 チェロとピアノが奏でる美しい音色に、会場からは大きな拍手が送られました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。

◆お詫びと訂正
 広報6月号の7ページに掲載しました「桜舞サッカーフェスティバル」の記事が誤っていました。
 「町内のチームは惜しくも決勝トーナメントには進めませんでした」と掲載しましたが、Area Area FCは決勝トーナメントに進出しております。訂正して、お詫び申し上げます。



ソフトテニス全国大会出場挨拶 6/19

8月に山梨県で開かれる『第30回全日本小学生ソフトテニス選手権大会』に出場を決めた松尾海音くん（高静小5年）と原颯哉くん（東静内小5年）のペアが、役場静内庁舎を訪れ、酒井町長に健闘を誓いました。原くんは「春の全国大会では悔しい思いをした。今回は悔いを残さず頑張りたい」、松尾くんは「暑さに負けず、大きな声を出して日本一を目指す」と抱負を述べ、酒井町長は「技を磨き活躍して下さい」と激励しました。



安田記念制覇 6/2

春のマイル王決定戦『第63回安田記念』（G I・芝1600メートル）が東京競馬場で行われ、ケイアイファーム（三石川上）の生産馬ロードカナロア号が優勝を果たしました。
 ロードカナロア号は、最後の直線で外側から末脚を伸ばして先頭に立ち、追い込んだ2着馬を首差抑え、見事1着でゴールイン。G I 4勝目を挙げました。レース後、同牧場には続々と関係者が訪れ、喜びと祝福の声であふれていました。



森は海の恋人運動 5/29

町緑化推進委員会（会長・酒井芳秀町長）による緑あふれる環境づくり・豊かな海づくりを目指した『森は海の恋人運動』国道周辺緑化事業植樹祭が静内浦和の町有地で開かれました。
 植樹祭に参加した約100人の町民は、およそ3千平方メートルの敷地に、町花のエゾヤマツツジやクロマツの苗木1300本をクワやスコップを使い、一本一本丁寧に植えました。



農業研修生へ認証授与 5/24

町内の農業関係団体でつくる町農業振興対策協議会（会長・酒井芳秀町長）は、新規就農を目指して、今春から町内のミニトマト農家などで研修している5人に、研修生としての認証を授与しました。
 研修生は、道内外の30～50代の夫婦ら3組5人。認証を受け取った研修生は「目標実現のため努力します」と抱負を述べ、酒井町長は「良い農業者を目指して頑張ってください」と激励しました。研修生はそれぞれ2年間研修した後、町内での独立を目指します。



老人スポーツ大会 6/18

町老人クラブ連合会静内支部による『老人スポーツ大会』が静内体育館で開かれ、約300人が参加し、パットゴルフなどの種目を競い合いながら、親睦を図りました。



第25回イチャルパ 6/2

道アイヌ協会新ひだか支部による先祖供養の儀式『イチャルパ』が静内真歌のチセ（アイヌ民族の伝統家屋）で厳かに行われ、約100人が参列し、祈りをささげました。



ふれあい美術展 5/31～6/2

『ふれあい美術展』が町公民館で開かれ、町民が出展した写真や絵画、書道、押し花、陶芸など325点の個性あふれる作品が展示され、来場者の目を楽しませました。



ちょっと交流ツアー 5/24

町外から一定期間、新ひだか町に滞在する「ちょっと暮らし体験住宅」を利用している方に町の魅力を知ってもらおうと、町の名所を巡るツアーが開かれました。